

報道関係各位

2020年9月29日

## 国内事業の活性化に向け、「変わらないと、LIXIL」の取り組みを強化 新制度の導入により、従来の働き方からの転換を加速

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は、持続的な成長の実現に向けて、国内事業の活性化を継続的に推進してきましたが、日本市場における環境の変化や課題に、より迅速に対応できる機動的な組織の構築に向けて、この度、働き方を再定義するとともに、それを推進するための新制度を導入します。

LIXIL グループでは、決まった場所、時間、方法で働くという従来の働き方から脱却し、従業員が最適な働き方で生産性を高めることができるよう、国内拠点の集約や、スーパーフレックス制度の導入といった新たな人事施策を推進していきます。また、従業員の主体的なキャリア形成を支援する一環として、副業の試験導入を行います。当社では、2019年11月から包括的な人事プログラム「変わらないと、LIXIL」を導入し、「顧客志向に変える」「キャリアを変える」「働き方を変える」の3つを重点テーマに、従業員の働き方に対する意識改革や、在宅勤務やフレックスタイム制度の積極的な活用など、より柔軟な勤務体系への移行といった取り組みを継続的に進めてきました。さらに次の段階として、多様な働き方への転換を加速させ、従業員が生産性や効率を重視しながら、自身のライフスタイルに合わせた自律的な働き方ができるよう、国内従業員を対象に、在宅勤務を基本とする新たな勤務体制に移行します。働く場所としてのオフィスの位置づけも変わり、今後は、リモートではなく実際に集まることで対話や議論をより効率的に行うコミュニケーションの場所となります。

当社が推進する新しい働き方については、動画（<https://youtu.be/q12YQDNRpTU>）をご覧ください。



### 1. 働く場所を再定義

#### オフィスはコミュニケーションの場へ

当社では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止策に関わらず、生産、物流等を除く幅広い職種において、引き続き在宅勤務を基本とします。これに対応して、オフィスのあり方も必然的に変化し、「コミュニケーションの場」としての役割がさらに重視されます。従業員は、オフィスと自宅ですべき業務を選別し、オフィスでは、同僚と直接コミュニケーションをとることで、新しいアイデアの創出や業務の効率化につなげていきます。

#### 国内拠点の集約を推進し、連携を強化

LIXIL グループでは、今年度から来年度にかけて、東京都江東区にある本社 LIXIL WING に、東京都区内にある LIXIL グループの計 23 拠点の集約を段階的に進めていく予定です。本社は、新しい働き方を象徴するオフィスとして、より多くの従業員が集う場所となり、生産性の向上と新しい価値の創出につなげていきます。

さらに、国内で水まわり事業を手がける LIXIL Water Technology Japan (LWT-J) では、愛知県常滑市に点在していた計 4 か所のトイレ開発拠点を旧常滑工場に集約し、同工場の敷地内に新たにグローバル研究開発拠点「とこラボ」を本年 11 月に開設します。トイレに関する研究、企画、設計、検証、試験という一連の開発プロセスに携わる従業員が同じ場所で働き、連携を高め、リソースを共有することでイノベーションの創出につなげるとともに、開発効率の向上や開発期間の短縮をはじめ、技術・製品開発力の強化を図ります。

## 2. 働く時間を従業員が主体的に選択

### 「スーパーフレックス制度」を導入

2020 年 10 月度より、従来のフレックスタイム制度で定められていた必ず勤務しなくてはならないコアタイムを廃止し、従業員が自由に働く時間を決めることができる「スーパーフレックス制度」を導入します。この制度は、本社管理部門、営業部門、工場間接部門が対象となり、仕事と生活のバランスを取りながら、従業員が主体的に働く時間を選択できるようになります。これにより、業務の効率化や生産性の向上、ワークライフバランスのさらなる充実が期待されます。

## 3. 従業員が主体的にキャリアを形成

LIXIL ではあらゆる世代の従業員のキャリア計画や育成を強力にサポートするとともに、実力主義の浸透を加速させています。すべての従業員が自身のキャリア形成について自主的に考え、行動することが求められる中、仕事の生産性を高めることで生み出された時間を、自己啓発やキャリアアップに活用することを推奨していきます。

### 副業の試験導入により、従業員のキャリア開発を支援

会社という枠にとどまらず、従業員のキャリアアップの選択肢を増やすため、副業の試験導入を行います。業務や従業員の心身への影響等を検証するため、2020 年 10 月から 2021 年 3 月までは試験導入期間とします。今後、検証結果をふまえ、正式導入につなげる予定です。

LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉は次のようにコメントしています。「LIXIL の成長の原動力は、多様な従業員から生み出されています。LIXIL では、COVID-19 の感染拡大の影響を受ける前から、事業構造の簡素化や生産性の向上など、より機動的な組織へと進化するため、国内事業の変革を推進してきました。決められた場所や時間、方法といったこれまでの制約を取り払い、より柔軟な働き方の推進は、従業員一人ひとりがこれまで以上に高い能力を発揮できる環境の構築につながります。同様に、個々人の能力や成果そのものを重視する実力主義への転換を図る中で、管理職に求められる役割や責任の見直しも進めています。このような変革の取り組みはまだ進行中ですが、今回新たに導入する施策は、国内事業の変革を進める上で大きな意味を持っています」

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 LIXIL グループ (<http://www.lixil.com/jp>)

本社：東京都江東区大島 2-1-1

広報 高田・真中 TEL：03-6706-7020 / MP：080-4076-2510

※このリリースは、LIXIL グループホームページ (<http://www.lixil.com/jp>) でも発表しています。

## ■ LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2020年3月期に1兆6,944億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：[www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>